# 自らの命は自ら守る

# 避難情報のポイント

ー早めの避難を心掛けましょうー

これからの季節は、大雨や台風による災害が起きやすくなります。

市や気象庁では、避難情報と併せて5段階の警戒レベルを発令します。警戒レベル5は、既に安全な避難がで きず、命が危険な状況です。警戒レベル3や4の段階で避難することが重要です。

市から警戒レベル3以上を発令する場合は、防災行政無線、防災・防犯情報メール、防災アプリ、市ホーム ページやテレビなどを使用して発令しますので、日頃から情報収集できるよう準備しましょう。

> 問い合わせ先 防災・避難情報・・・危機管理課**☎** (76) 0960 5つのゼロ宣言・・・生活環境課☎(76)0985

# 避難の判断基準



警戒レベル5の発令を待ってはいけません

警戒レベル 避難情報

きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 災害発生または切迫



既に安全な避難ができない危険な状況 です。すぐに命を守る行動を

### ↓ 警戒レベル4 避難指示までに必ず避難 ↓

避難指示 災害のおそれ高い



危険な場所から速やかに避難する

災害のおそれあり



避難に時間が掛かる人や心配な人は、 早めに避難する

大雨•洪水•注意報(気象庁) 気象状況悪化



ハザードマップなどで、危険箇所や避 難ルートを確認する

早期注意情報(気象庁) 気象状況悪化のおそれ



気象情報や防災情報を入手し、災害に

※警戒レベル5は、市が災害の発生・切迫を把握できた場合に可能な範囲で発令される情報のため、必ず発令さ れる情報ではありません。

# 避難とは「難」を「避」けること ~最も安全な避難を考えよう~

### ①在宅避難

水害・土砂災害の 危険性が低いな ど、安全な場合は 自宅で避難



# ②親戚・知人宅へ避難

普段から親戚や知 人に、災害時避難 することを相談し ておきましょう



### ③避難場所

危険なときは、迷 わずに避難場所へ (事前に最寄りの 👘 避難所を確認)



# 防災情報を入手するためには?

### ■防災行政無線

屋外スピーカー(屋外拡声子局)や戸別受信機、防災アプリなどで防災情報をお知らせします。なお防災行政 無線からの放送内容は、専用ダイヤルで再度確認することができます。 ☎ 0277(32)3377 (専用ダイヤル)

携帯電話などでメール配信サービスを事前に登録することにより、防災行政無線で放送された内 容をお知らせします。

【登録方法】 右の2次元コードを読み取り、登録してください。読み取れない場合は「t-midori@ sg-m.jp」宛てに空メールを送信してください。

## ■ 防災アプリ(みどり市防災ナビ)

スマートフォンアプリを事前に登録することで緊急情報をプッシュ通知でお知らせします。

### 【ダウンロード方法】

iPhoneおよびAndroidともに、市ホームページからダウンロード、または右の2次元 コードを読み取ってください。







# 緊急情報の お知らせ

気象警報や注意報、避難指示など、 災害に関する緊急の情報をプッシュ 通知します。

▷操作方法 トップ画面⇒防災情報





地図上に開設中の避難所情報が確認で きます。避難所を選択すると、現在地 からの直線距離が表示されます。

▷操作方法 トップ画面⇒避難所検索 ⇒地図上の避難所選択



※その他の機能として、防災行政無線の放送内容を音声で確認できたり、土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域 などをハザードマップにより、危険度を確認できます。

### ■ 群馬テレビのデータ放送で防災情報を取得

災害発生時の避難情報など、防災情報を配信します。 【利用方法】

- ①群馬テレビ(3ch)にチャンネルを合わせる
- ②リモコンの [dボタン] を押す
- ③画面左下の一覧から「みどり市のお知らせ」を選び、決定ボ タンを押す



# ☑ 防災グッズの準備

災害時に必要な物は、それぞれ違います。事前に自分や家族構成に合ったものを準備しましょう。

# 家庭内備蓄リスト

- □水 (1人1日3 ばが目安)
- □食料(缶詰やレトルト食品などの 非常食)
- □日用品(携帯トイレ、充電器、マ スク、トイレットペーパー、ろう そく、カセットコンロ など)

# ポイント!

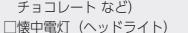
最低でも3日分、できれば7日分 準備する

# 非常持ち出し品リスト 🧥



□水 (500ml のペットボト ル3本程度)

□タオル □非常食(缶詰、ビスケット、 □軍手



□携帯ラジオ

□救急用品 (消毒液、常備薬 など)

□マスク

□歯ブラシ

□乾電池、充電器

□ウエットティッシュ など

### ポイント!

両手が使えるようリュックに入れて、人数分用意する

(7) 広報みどり No. 196 2022年(令和4年) 7月号 (6)